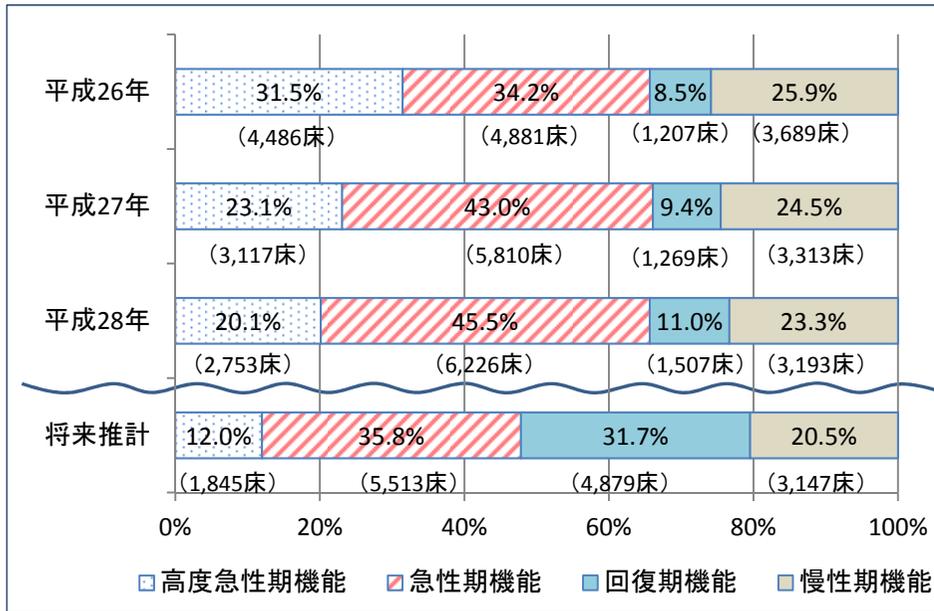
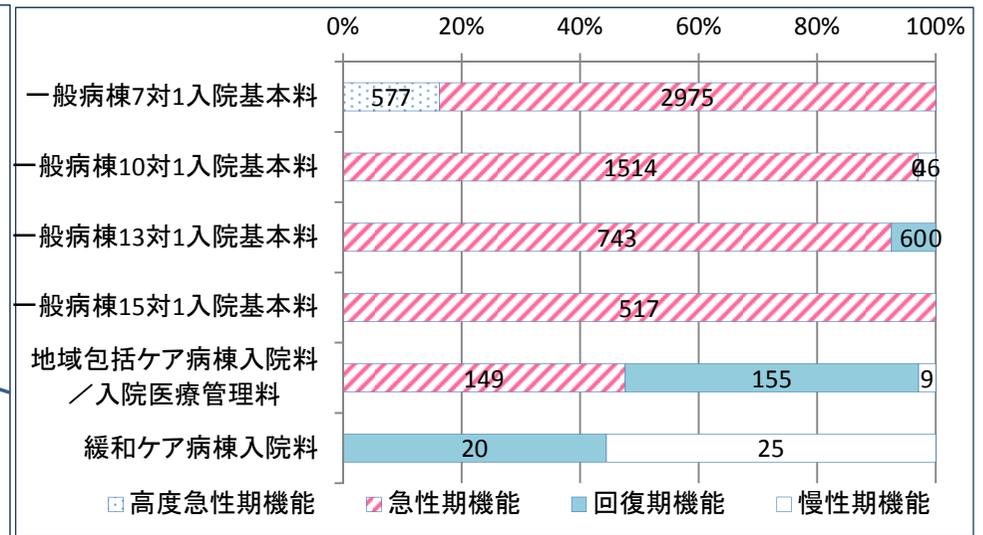


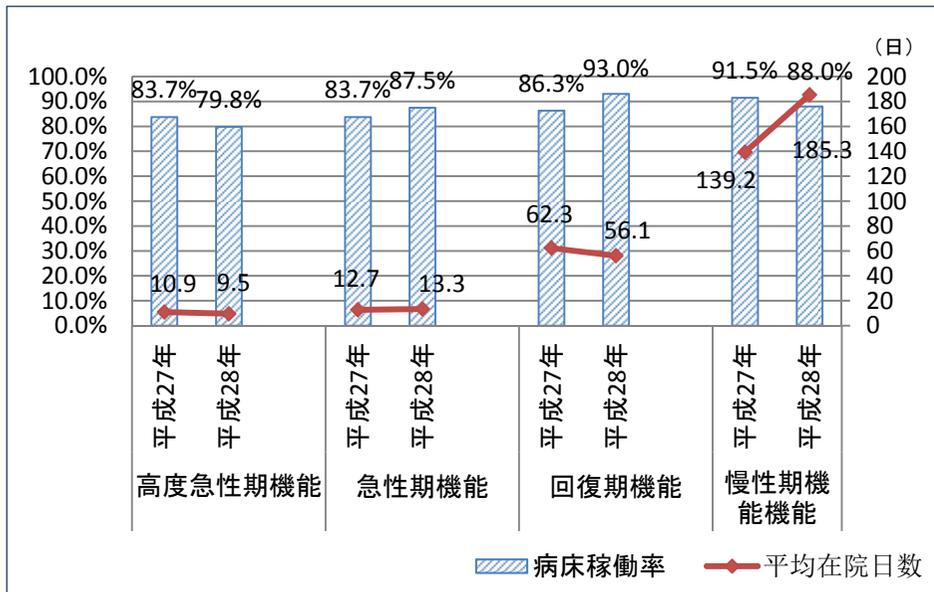
①4機能別病床数の推移(平成26年度～平成28年度)



③入院料×機能



②病床稼働率と平均在院日数の推移(平成27年度・平成28年度)



④退院後1ヶ月以内に在宅医療を必要とする患者の割合

	在宅医療を必要としない患者(死亡退院を含む)	自院が在宅医療を提供する予定の患者	他施設が在宅医療を提供する予定の患者	在宅医療の実施予定が不明の患者
高度急性期機能	4603 (94.9%)	20 (0.4%)	47 (1.0%)	178 (3.7%)
急性期機能	9095 (87.1%)	302 (2.9%)	403 (3.9%)	640 (6.1%)
回復期機能	387 (58.7%)	25 (3.8%)	155 (23.5%)	92 (14.0%)
慢性期機能	312 (75.2%)	16 (3.9%)	23 (5.5%)	64 (15.4%)

⑤退院調整部門を置いている病院の割合 62.9%

- ①H27からH28にかけて急性期機能の増(7:1病床の増)、回復期機能の増(回復期リハ病床の増)
- ②回復期機能において、在院日数が短くなり病床稼働率が上がっている
- ②慢性期機能では、在院日数が長くなり、病床稼働率が下がっている
- ③地域包括ケア病棟では、急性期機能と回復期機能の報告がほぼ均衡
- ③緩和ケア病棟では、回復期機能と慢性期機能の報告がほぼ均衡
- ④回復期機能で、退院後に他施設が在宅医療を提供するという割合が高い